

令和4年度愛知県栄養教諭研修会及び総会

令和4年5月25日（水）ウィルあいち ウィルホールにて開催され、講演及び総会式典が行われました。

講演

演題「家庭科教育の意義と育成する資質・能力」

講師 金城学院大学 教授 上野顕子氏



家庭科教育は生活に密着している教科だからこそ、時代とともに変遷し、その時代の社会・家庭の姿を反映していることを分かりやすく示してくださいました。

そして、新しい時代を生きる子どもたちには、自分の幸せは共に生きる人の幸せの上に成り立つこと、地球全体のことを考えて行動できる広い視野が必要であることをご教示いただきました。

家庭科教育として目指すことは、生涯を通して、人・動物・植物などと共存、共生し、なりたい自分になるための力をつけることであるということ学びました。私たち栄養教諭・学校栄養職員も、人間形成に貢献する専門家であることを肝に銘じ、子どもたちの自己実現に向けた支援ができるよう、日々努めていきたいと思えます。

【ご講演を拝聴しての感想】

家庭科教育は生涯をとおして「自立」と「共生」を実践し、なりたい自分になるための教育であるという家庭科教育の意義を、改めて学ぶことができました。先生が随所でおっしゃっていた「家庭科教育は実践的体験的な活動である」という言葉がとても印象に残っています。また、今まで「自立」という言葉を、一人で生きていくために必要な知識や技術の習得という捉えをしていましたが、「共存・共生する関係のなかでの包括的概念の自立」という新しい捉え方を理解しました。

私たち栄養教諭は、家庭科教育の「食に関わる分野」に専門性を生かし、参画することになります。実際に1食分の献立を立てる、調理実習を通して基本的な調理技術を身に付ける場面に、積極的に関わり子どもたちの成長を支援していきたいです。

総会式典

愛知県教育委員会保健体育科 課長 久保田昌俊様はじめ、愛知県小中学校長会副会長、公益財団法人愛知県学校給食会理事長、愛知県特別支援学校長会会長、愛知県学校給食センター連絡協議会会長にお越しいただき、ご祝辞を頂戴いたしました。

